



（１）取組方針の変遷

（２）取組方針の改定

（３）流域治水プロジェクトとの連携

取組方針の変遷

- 平成27年9月関東・東北豪雨等により逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生したことを踏まえ、関係機関が連携・協力し、減災に向けた取組を推進することにより、氾濫が発生することを前提として社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築するため、「神奈川県大規模氾濫減災協議会」（以下「協議会」という。）を平成29年5月に設立した。
- 本協議会では、各構成員が連携協力してハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進し、「水防災意識社会」を再構築するために、現状や課題を整理し、令和3年度を目途に達成すべき減災目標を定めた「神奈川県・横浜市管理河川の減災に係る取組方針」（以下「取組方針」という。）を平成30年1月にとりまとめた。

平成30年1月30日：平成29年度第2回協議会にて「取組方針」の策定

令和3年度を目途に達成すべき目標

神奈川県・横浜市管理河川の大規模水害に対し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指す。

目標達成に向けた取組

【ハード対策】

- ・洪水を河川内で安全に流す対策
- ・避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

【ソフト対策】

- ・情報伝達、避難計画等に関する取組
- ・防災教育や防災知識の普及
- ・水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組

平成30年5月31日：水防法改正に伴い法定協議会へ移行

取組方針の変遷

令和2年6月5日：令和2年度第1回協議会（書面開催）後、「取組方針」の改定

背景

- ① 平成30年7月豪雨をはじめ、近年各地で大水害が発生していることを受け、「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画が平成31年1月に改定された。
- ② 令和元年東日本台風において、23河川150箇所の施設被害、7河川8箇所での溢水被害が発生した他、城山ダムでは運用開始以来初めて緊急放流を実施した。

改定概要

- ① 緊急行動計画の改定を踏まえた対応
 - ・水害対応タイムライン等を令和2年度までに作成する等の取組目標時期の明確化
 - ・わたしの避難行動（マイタイムライン等）に係る新たな取組の実施 等
- ② 令和元年東日本台風を踏まえた対応
 - ・「神奈川県水防災戦略」に基づき、河床掘削・樹木伐採等の緊急実施や遊水地等の整備推進等の被害最小化する取組の加速
 - ・ダム放流情報に係るホットライン等の改善 等

取組方針改定以降：協議会で「取組方針」に基づく対策の実施状況を確認

取組方針の改定

令和3年12月22日：令和3年度第2回協議会にて「取組方針」の改定(予定)

背景

- 「取組方針」については、この5年間で取組が完了した項目もあるが、目標未達成の項目や継続的に実施する項目が多くあることから、目標達成に向けて取組を継続する必要がある。
- そこで、「取組方針」の減災目標としている令和3年度を迎えたことから、目標年度を令和8年度とする「取組方針」として改定する。

取組方針

取組が完了した項目

- ・ 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図

削除

取組が目標未達成の項目

- ・ 要配慮者施設における避難確保計画
- ・ ハザードマップ

目標時期の
見直し

継続的に実施する項目

- ・ 洪水を河川内で安全に流す対策、水位計等の増設
- ・ 水害対応タイムライン、マイ・タイムライン、ホットライン等

引き続き掲載

令和4年5月下旬：協議会で新たな「取組方針」に基づく対策の実施状況を確認

取組方針の改定（主な内容）

共通編

1－1．はじめに

- 文章内容を変更⇒**流域治水の追加**
- 取組方針の目標時期を変更（令和3年度⇒**令和8年度**）

1－3．減災のための目標

- 減災目標を変更（令和3年度⇒**令和8年度**）

1－4．目標達成に向けた主な課題と取組

- 浸水想定区域図やハザードマップの見直し⇒**ハザードマップの改良、周知、活用**
- タイムラインの整備⇒**検証・見直し**

1－5．フォローアップ

- 協議会の開催時期を変更（出水期前後開催⇒**毎年開催**）

地域編

2－1．地域の概要と主な課題

- 令和元年東日本台風・令和3年7月の大雨の被害状況を追加

2－2．現状の取組状況

- 現状と課題を変更
 - ・想定される浸水リスクの周知（「**○現状**」に**想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域公表の追加等**）
 - ・避難情報の発令（「**●課題**」をタイムラインの整備⇒**検証及び見直し**）
 - ・その他（「避難勧告等」⇒「**避難情報**」）

2－3．概ね5年で実施する取組

- ソフト対策の主な取組を変更
 - ・ホットライン構築⇒**体制確認** ・タイムラインの**検討・作成**⇒**検証・見直し**
 - ・想定規模最大降雨による洪水浸水想定区域図等の公表⇒**削除**
 - ・洪水ハザードマップの**拡充**⇒**改良、周知、活用**（※準用河川等を含む）
 - ・要配慮者等への対応等を考慮した避難計画の**検討**⇒**作成及び避難訓練の実施**

流域治水プロジェクトとの連携

- 河川整備計画（策定予定含む）に基づき整備予定の11水系で、流域治水協議会等を設立し、「流域治水プロジェクト」を令和3年度中に段階的に公表する予定。
- この「流域プロジェクト」には、「取組方針」の内容が反映されており、本協議会としては、流域治水協議会等と連携して取り組む。

凡 例

■ 公表済み(1級水系)

- 1級水系
- ①多摩川水系
 - ②鶴見川水系
 - ③相模川水系

■ 公表済み(2級水系)

- 2級水系
- ①引地川水系
 - ②帷子川水系
 - ③大岡川水系
 - ④境川水系
 - ⑤酒匂川水系

■ R3年度末までの公表予定

- 2級水系
- ⑥田越川水系
 - ⑦金目川水系
 - ⑧葛川水系
 - ⑨森戸川水系
 - ⑩山王川水系
 - ⑪早川水系



流域治水プロジェクトとの連携

【参 考】協議会の設立及びPJの公表状況

No.	水系名	協議会構成団体	協議会設立状況	PJ公表状況
一級水系 3水系／全3水系				
1	多摩川	国、東京都、神奈川県、山梨県、31市町村	既存協議会	令和3年3月30日
2	鶴見川	国、東京都、神奈川県、4市	既存協議会	令和3年3月30日
3	相模川	国、神奈川県、山梨県、24市町村	令和2年8月19日	令和3年3月30日
二級水系 11水系／全23水系				
1	引地川	神奈川県、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市	既存協議会	令和3年3月30日
2	境川	神奈川県、東京都、横浜市、相模原市、鎌倉市、藤沢市、大和市、町田市	既存協議会	令和3年9月22日
3	帷子川	神奈川県、横浜市	令和3年3月26日	令和3年9月22日
4	大岡川	神奈川県、横浜市	令和3年3月26日	令和3年9月22日
5	酒匂川	神奈川県、小田原市、秦野市、南足柄市、大井町、松田町、山北町、開成町、国	令和3年3月26日	令和3年9月22日
6	田越川	神奈川県、逗子市	令和3年6月25日	令和3年度末
7	金目川	神奈川県、平塚市、秦野市、厚木市、伊勢原市、大磯町、中井町	令和3年8月13日	令和3年度末
8	葛川	神奈川県、平塚市、秦野市、大磯町、二宮町、中井町	令和3年8月13日	令和3年度末
9	森戸川	神奈川県、小田原市、大井町、松田町	令和3年10月28日	令和3年度末
10	山王川	神奈川県、小田原市	令和3年10月28日	令和3年度末
11	早川	神奈川県、小田原市、箱根町	令和3年10月28日	令和3年度末